



2021 年分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH  
東京税関羽田税関支署

## 羽田空港貨物取扱量

年間総取扱量 41万9千トン 前年比 32.9%増



## 概要

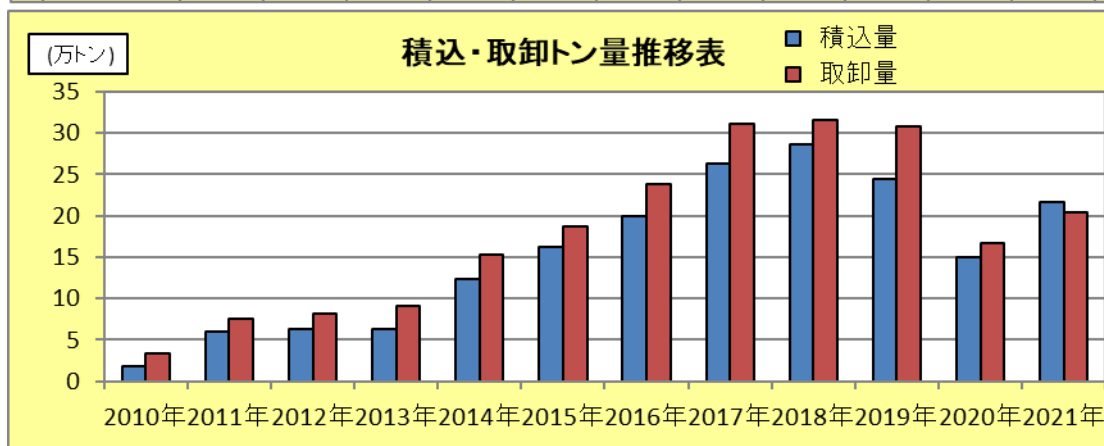
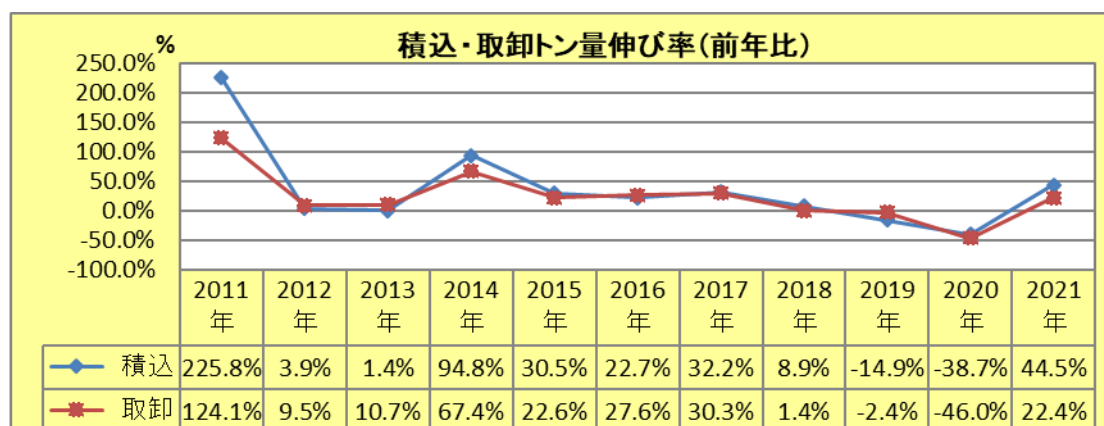
2021年の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 419,392トン(前年比 32.9%増)

積込量 215,843トン(同 44.5%増)

取卸量 203,549トン(同 22.4%増)

となり、対前年比でいずれも3年ぶりの増加となった。



※2010年10月羽田再国際化

1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（羽田税関支署）の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課（TEL050-5533-6971）まで。



## 地域別通関動向

### ● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 13,042トン(前年比 56.2%増、シェア 11.3%)

その他地域通関 102,418トン(同 59.8%増、同 88.7%)

となり、羽田地域通関、その他地域通関が、いずれも増加となった。

### ● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 58,270トン(前年比 12.3%増、シェア 46.6%)

その他地域通関 66,672トン(同 26.9%増、同 53.4%)

となり、羽田地域通関、その他地域通関が、いずれも増加となった。



## 仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 100,383トン(前年比 30.5%増)

取卸量 78,607トン(同 27.0%増)

となり、積込量、取卸量が、いずれも増加となった。



## 生鮮・ドライ取卸貨物動向

2021年の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別でみると、

生鮮貨物 12,416トン(前年比 36.9%増、シェア 21.3%)

ドライ貨物 45,854トン(同 7.1%増、同 78.7%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等25.5%(前年比1.5%減)、果物19.8%(同138.5%増)、水産物30%(同36.8%増)、植物(切花等)10.2%(同40.1%増)、乳製品9.9%(同68.1%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

|           | 2021年  |        |        | 2020年  |       |        |
|-----------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
|           | トン     | 前年比    | 構成比    | トン     | 前年比   | 構成比    |
| 羽田空港輸入貨物量 | 58,270 | 112.3% | 100.0% | 51,883 | 52.5% | 100.0% |
| 生鮮        | 12,416 | 136.9% | 21.3%  | 9,072  | 57.1% | 17.5%  |
| ドライ       | 45,854 | 107.1% | 78.7%  | 42,811 | 51.7% | 82.5%  |